



山崎 大



平林由希子

国内外の洪水リスクのマネジメントの最先端動向

洪水リスク研究会

RC-98

代表幹事

山崎 大 (東京大学 生産技術研究所 准教授)

幹事

平林由希子 (芝浦工業大学 工学部土木工学科 教授 /
東京大学 生産技術研究所 リサーチフェロー)

芳村 圭 (東京大学 生産技術研究所 教授)

連絡先

横山美奈子 (山崎大研究室秘書)

Tel : 03-5452-6381

Fax : 03-5452-6383

e-mail : m-yoko@iis.u-tokyo.ac.jp

塚田由紀 (山崎大研究室秘書)

Tel : 03-5452-6382

Fax : 03-5452-6383

e-mail : tsuka@iis.u-tokyo.ac.jp

主旨

2021年にIPCC第6次評価報告書が発表され、地球温暖化への人間活動の影響は疑う余地がなく、大雨や台風といった極端現象の深刻化がすでに起きているとされました。将来温暖化がさらに進行すると、アジアやアフリカなどの多くの地域において、河川洪水や内水氾濫、さらには高潮と河川の複合洪水のリスクが増加する可能性が高いと予測されています。

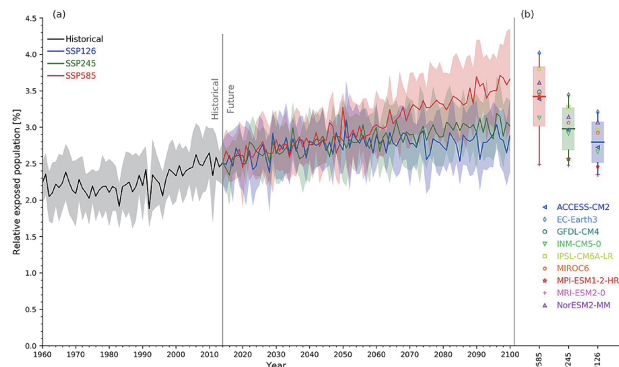
地球温暖化の影響のなかでも洪水リスクの増加に関心が高まっています。日本では2019年の台風19号が東日本各地に甚大な影響を及ぼし、最近では梅雨明け前の豪雨によって毎年のように各地で大規模な水害が発生しています。世界では、2011年タイ洪水や2017年アメリカのハリケーンハービーなど、洪水被害がサプライチェーンを通して世界経済に影響を及ぼすようになりました。また、2021年にはヨーロッパやニューヨークで記録的な豪雨と洪水が発生し、温暖化によって洪水リスクにすでに変化が生じているのではないかと議論されています。

こういった状況を受けて、民間企業や金融セクターでもTCFD枠組みなどを通して、洪水をはじめとする気候リスクの少ない社会への転換が求められています。本研究会では、国内外における洪水リスクについての現状を把握し、洪水リスク評価方法や予測技術の発展と限界について知識を共有し、各企業が企業経営において洪水リスクをマネジメントするための具体的な方策について議論を行います。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

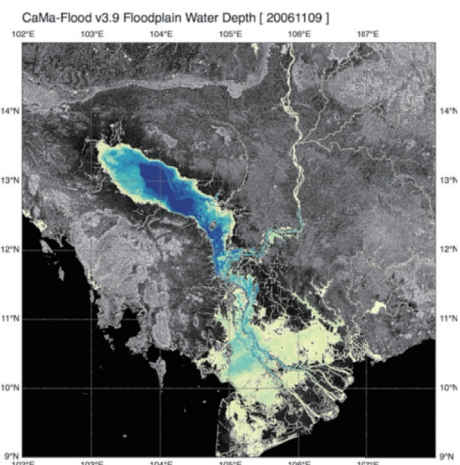
- 参加費：賛助員の場合 : 15万円 (1社1名から4名まで)
(別途賛助員年会費1口10万円がかかります)
30万円 (1社5名から8名まで)
(別途賛助員年会費1口10万円がかかります)
非賛助員の場合 : 25万円 (1社1名から4名まで)
40万円 (1社5名から8名まで)

定員：最小8社、最大25社

運営方法：東京大学生産技術研究所にて、年4回程度、1回2時間程度の定例研究会を開催



気候予測データを用いた将来の洪水影響人口推定



グローバルな洪水リスクマップのためのモデル開発

特別研究会申込方法

下記連絡先まで電子メールでお申し込みください。

連絡先：一般財団法人 生産技術研究奨励会 特別研究会係
〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内Dw405
TEL：03(5452)6095
e-mail：renhisho@iis.u-tokyo.ac.jp



●HPアドレス：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_2023.html

●特別研究会会員規則：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_gazou/rc2023/RC-kaiin-ki.pdf

2023年度 特別研究会申込書

特別研究会会員規則に同意の上、お申し込みください。

申込日：_____年____月____日

いずれかに○をつけてください。

[] 新規

[] 継続（継続参加の場合も、年度毎に申込書をご提出ください。）

(1) 特別研究会No. : RC-

(2) 貴社名 :

(3) 参加者（参加者複数の場合は、代表者をご記入いただき、その他の方は別紙でご提出ください。）

（フリガナ）

■氏名 :

■所属 :

■役職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■Fax :

■E-mailアドレス :

(4) 事務担当連絡先（上記(3)と同一の場合、ご記入の必要はありません。）

（フリガナ）

■氏名 :

■所属 :

■役職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■Fax :

■E-mailアドレス :

賛助員について

いずれかに○をつけてください。2と3については口数をご記入ください。

1. 既に賛助員である。

2. 既に賛助員であるが、増口する。→ _____ 口に増口（1口につき賛助員年会費10万円）

3. 賛助員未入会につき、新規申込みをする。→ _____ 口に新規申込み（1口につき賛助員年会費10万円）

4. 賛助員申込みをしない。

ご不明の場合には、上記までお問い合わせください。

賛助員の詳細については、<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/memberhp.html>をご覧ください。